

遊文通信

今回の遊文通信は…

- TASKalfa Pro 導入より2年半
——SDGSへの貢献も意識して
- スタッフの趣味通信

TASKalfa Pro 導入より2年半
——SDGSへの貢献も意識して

弊社では2020年10月に日本で初めて商業印刷に対応した枚葉型インクジェットプリンター TASKalfa Pro 15000c (以下 TASKalfa 〈タスクアルファ〉) を導入しました。導入から約2年半が経過し、改めてこの印刷機の現状を率直にレポートしたいと思います。

以前にもお知らせしましたが、弊社では既に富士フィルム社製のPOD機を6台所有しており、今年初めにオフセット印刷工場を京都支店に移設、大阪本社はPOD機工場として新しく生まれ変わりました。当初 TASKalfa が導入された時点でPOD機とはどう違うのか、品質はどうか、ランニングコストなどいろいろと不安材料があり、模索しました。

①用紙の問題 インクジェット機の特性上、上質紙(マット紙など専用紙は除く)しか使用できないということ。しかも上質紙でも特定の銘柄に限りしか印刷できないということで、何種類か違う用紙をテスト印刷しました。上質紙でも銘柄によりインクの浸透率などが違い、インクが流れたり、滲み過ぎたり、ふやけたりして何度もテストを重ねました。結果的にPOD機でメインとしている用紙が一番印刷に適したものでした。

②コストの問題 ご存知のようにPOD機はカラートナーを使用して印刷するもので、メーカー側に1ページ単位でカウント料金を支払う契約になっており、その他トナー代金も別途発生します。その点 TASKalfa は水性インクを使用、カウント料などは存在せず、用紙代を除けばPOD機より遥かにランニングコストが安く、印刷物の1部当たりのインク代も計算することができます。同じものをPOD機で印刷した場合、カウント料金だけで TASKalfa より約2倍以上のコストが発生します。

さらにPOD機の場合、別途トナー代が発生するのでいかに TASKalfa がコスト的に優れているかわかります。営業の見積りでもPOD機での印刷では見積り段階でお客様の予算に見合わず、TASKalfa で提示した安い見積りが喜ばれるケースも増えております。

③品質面 カラー物を印刷した場合、POD機はカラーの再現性が良くかつレンジ幅が広く、写真などは美しく文字もくっきりとしたエッジの効いた仕上がりになります。逆に TASKalfa の場合はインクを紙に吹き付けるため、拡大すると文字などのエッジがぼやけた感じになります。他にPOD機ほど写真などの再現性に乏しく、レンジが狭いため暗い印象になります。良くいえばPOD機と比較して TASKalfa は柔らかく優しい仕上がりになる印象です。

④環境対応 TASKalfa は、省エネルギーへの取組として、節電等の環境負荷の低減をポリシーにしています。遊文舎でも環境対応インクを使用しています。

それに付随して次のような問題もでてきます。POD機は特性上、熱を利用してトナーを定着させるため、印刷した用紙に波打ちなどが発生します。お客様によってはこの波打ちが嫌いでPOD機での印刷は御法度の場合もあります。逆に TASKalfa は熱が発生することはないので波打ちなどはありませんが、薄い紙では裏抜け(裏写り)が発生することがあります。

というわけで、用紙の汎用性やスピードなどではPOD機には劣りますが、テストの結果、今までオフセット機で印刷していた定期物のカラー冊子が TASKalfa で遜色なく再現でき、問題なく移行することができました。

生産性では TASKalfa は一日(8時間)でA4冊子100ページを約500冊分印刷することができるので、オフセット印刷に変わり、現在は毎日定期物のカラー冊子を印刷しています。

上記のようにPOD機と TASKalfa それぞれの良いところ、悪いところを補いながら日々業務に励んでおります。もし全ての印刷物を TASKalfa で印刷できればSDGSにももう少し貢献できるのだがな、と思いつつ…。(オンデマンド課チーフ 土肥 浩)



自宅近くのザリガニ釣りを楽しめる施設に行ってきました。その施設は動物園の中にあるのですが、子どもたちは動物には目もくれずにザリガニのいる沢へ直行です。そこではボランティアの方お手製の釣り竿を無料でお借りすることができ、エサはスルメを持っていきます。釣り竿にスルメをつけ、子どもたちは自分の口にもスルメを入れ、釣り竿を沢に垂らします。釣られ慣れているザリガニたちもエサのにおいに負けて食いついてはくれますが、竿をあげるタイミングが早いとすぐに逃げられてしまいます。案の定、待つことに慣れていない子どもたちはすぐに竿をあげてしまい「ああ、また逃げられたあ」と、何度も何度もトライしているのを私はほっこり眺めていました。数年通っているおかげで今年は早めにコツを掴み、数分で1匹を釣りあげることができました。せっかく釣り上げたザリガニも怖くて子どもたちは触ることができませんでしたが、生き物を身近に観察することができて大満足のような様子でした。（東京支店 営業推進 ばっしー）



◀ ガウルちゃんのトレーディングカードとCD

私は最近 KPOP アイドルの「IVE」という女性6人組グループにはまっています。特に好きなのは「ガウル」ちゃんです。メンバーの中では最年長ですが、どこか抜けているのんびりしているところが大好きです！

新曲が出る度にアルバムを購入していて、その特典としてメンバーと話せるオンラインサイン会や直接会えるお見送り会などの応募券が貰えます。全て抽選なので直接会う方が倍率も高そうだと思っていましたが、実際に当たりにくいのはオンラインサイン会で、各メンバー30人ずつしか当選枠がないため絶対に当てようと思うとお金がいくらあっても足りません…。2枚応募で当たったという強運な方もいらっしゃるようですから、諦めてはいけませんよ！私もきゅう枚…くらい応募して当たりました（破産）

当選後は韓国語の発音の練習、笑顔が変じゃないか、服装は何にしようかなど色々準備を始めました。考えすぎた結果、万全とはいえない準備をして迎えた当日。画面いっぱいの可愛い子が飛び込んできた衝撃で、日本語と韓国語が混ざってしまいましたが、ニコニコしながら聞いてくれました。オンラインサイン会なので、後日、自宅に本人が書いたサイン紙が送られてきました。プチプチに包んで大事にとってあります。



画像はイメージです

お見送り会は当たりやすいため、ガウルちゃんだけでなく色々なメンバーと数秒ですが会ってきました。生で見ると可愛くてスタイルがよい！すぐ終わってしまいますが、かなり近い距離で見ることができます。次のお見送り会はハイタッチ…！手袋ごしで少し残念ですが、前よりもっと近くで見ることができると思います。お金を貯めてハイタッチ権利を勝ち取ります！（東京支店 営業推進 なっちゃん）

K-POP

「推し活の光と闇」

■編集後記

お久しぶりの「遊文通信」の発行になります。表面は国内1号機を導入した印刷機の経過報告。そして裏面は東京支店のスタッフの日常を掲載しております。遊文舎にはいろんな多趣味の方々がいるので、また定期的にご紹介出来ればと思います！なお、本号は1面にご紹介しました「TASKalfa」で印刷しております。品質面などお確かめください。（営業 原田）

■今月の紙

キンマリ SW (上質)
A判 57.5kg